



# 10月 湖山日記

## 【銀座湖山日記／9月5日】保育園のお泊まり

保育園では、毎年、年長組は、保育園にお泊まりする1泊イベントがある。

今年は、コロナで、泊まりはせず、夕食と焚き火までとなった。

それに、私も参加した。

風呂に入った園児と夕食会。

園児も調理に参加したカレーと一緒に頂いた。

3種類全部、味を堪能した。

美味しかった。

メロン、アイスクリームのデザートもあり、園児も満足したと思う。

特養ホームのお年寄りとの食事会とは、雰囲気が違う。

子供は好奇心が強く、初参加の理事長の私に、質問が飛ぶ。

私が園児の頃は、無口で大人しかった。

元気はつらつ。

でも、建物設備はあまりにも古く、相当手直しが必要と感じた。

焚き火も久しぶりで、遠巻きに、焚き火と園児を見つめていた。

動かないお年寄りと、動き回る子供。

どちらも、人間。

お世話をする方は、どちらも大変だな。

お土産の、保育園の名前入りタオルは、食堂で使っている。


来年の焚き火は、マシュルームか焼き芋か。

子供も老人も楽しめる、福祉キャンプ場は、福島と新潟で計画する。

屋外リハビリ公園の計画の一環として。

3年先とっていて欲しい。

ソロキャンプ 代表 湖山 泰成



【銀座湖山日記／9月10日】 認定こども園

送迎バスで、3歳児の園児の命が失われた傷ましい事故。

その施設は、認定こども園となっている。

保育園と幼稚園との良いところを合わせた施設のはずだ。

保育園のように、預かる時間が長い。

幼稚園のように、教育時間もある。

厚生労働省でも、文部科学省でもなく、内閣府の管轄ではなかったかと思う。

制度が理想的でも、運用する人間が、無責任だと、より悲惨だ。

後期高齢者になろうかと言う人間が、バスを運転し、同乗補助をしている。

免許を変換すべき年齢が、業務として、バスを運転している。

それを疑問視しない全職員。

職員全員業務上過失致死の認定を受けてもおかしくない。

人の命を預かる責任。

その基本は、病院、老人介護施設と同様。

もたれかかった、無責任体質の組織はどこにでもある。

でも、医療福祉保育の世界では許されない。

全職員にも責任はあると思うのだが、まずは、幹部責任者。

園長とか、主任とか、年長経験者が不遜で、怠慢だと、組織に悪をなす。

人の命が失われる。

現場で意欲を持っている職員も、意欲を失う。

最近では、園児の腕に、位置確認をできるアプリをつける保育園もあると言う。

今回も、園児の休みを確認できるアプリがあったそうだが、職員が普段から無視していたらしい。

安全確認のセンサーもアプリも、このような傲慢怠慢な職員では、意味がない。

一見善良そうで、無責任な年長幹部が、人の命を危険に晒す。

自分の親を入れたい病院で、我が親は、人生を全うしてくれた。

私には、将来、自分が入る老人介護施設は、多数ある。

次は、職員が、自分の子供や孫を入れたいと思う認定こども園を作りたい。


我が身には、子供も孫もないだけに、よりそう願う。

今回の死亡事件を起こした認定こども園に、職員は自分の子供を預けているだろうか。

自分の子供だけは、入園させてないのではないかと疑っている。

湖山Gの保育園では、決してそのような事はないはずだと信じている。

保護天使 代表 湖山 泰成



## 【銀座湖山日記／9月29日】ドリーム展示会

昨日は、保育園遊具の展示会に、初めて行って来た。

どれも、園児の遊ぶ笑顔が頭に浮かんで来て、楽しい。

どれも欲しくなる。

園庭に置く、大きな遊具。

私が、通っていた幼稚園には、これほど、かわいい楽しそうな園庭遊具はなかった。

思い出すのは、砂場、ジャングルジム位だろうか。

砂場セットも、おままごとキッチンセットも、マンガチックでとにかく可愛い。

楽器も、足で踏んで音を出すのがあった。

老人のデイサービスでも使えるような器具もあったが、デザインとセンスがやはり違う。

医療機器展、福祉機器展も毎年通ったが、雰囲気は全然違う。

展示会の名称が、チャイルドドリーム展と言う。

ドリームと言えるところが、保育事業の羨ましいところだ。

老人医療介護事業で、ドリームとは、言いづらい。

でも、昨日は、何よりも、参加者が少なかった。

業界で、関心が薄いのだろうか。

意欲が、ないのだろうか。

保育園も作り過ぎて、これから子供が減るので、東京では、突然の廃園もニュースになるようななった。

マーケットが下り坂になって、経営が難しくなるのは、行政も、事業者もわかっていたはず。

施設設備、つまり、新しい魅力的な遊具で差別化をするという経営感の持てる業界ではなさそうだ。

下り坂の業界だからこそ、湖山Gは、良質で良心的な保育事業を育てたい。

医療界でも、介護業界でも、飛躍的な発想と、地道な努力で、今の湖山Gを作った。

自分の親を入れたい病院。

自分が入りたい老人ホーム。

そして、次は、自分の子供や孫を入れたい保育園。

湖山泰成と言う経営者の、1番のお客様は、職員とその家族。

既に、両親を亡くし、子供もいない経営者にとって、職員が最後の家族。

その思いを体現する経営者でありたい。

職員に迷惑な時もあるかもしれないが。

本日職員新規PCR検査陽性者0名

ご苦労様です。感謝致します。

泰成君に戻りたい 代表 湖山 泰成

